



九州環境エネルギー産業推進機構

「総会記念講演」



どなたでもご参加できます
配信もあります
お申し込みはQRコードから

日時 令和7年6月19日(木) 16:00~17:10

会場 八仙閣本店3階 [天・香の間] (福岡市博多区博多駅東2-7-27)

演 題

『シナリオ分析で脱炭素社会に向けた 経営課題を考える』

講師：日本銀行 金融機構局国際課 企画役

竹山 梓 氏



「シナリオ分析」は、気候変動関連の国際的な議論、各国の政策立案、産業・個別企業など様々なレベルにおける影響分析などにおいて幅広く用いられています。

気候変動対策のように、過去の事例やデータをもとに今後の対策を検討していくことが困難なテーマについては、シナリオ分析を通じて、関係者間で認識の共有や課題の洗い出しを図っていくことが有効であると考えられます。

もともと、シナリオ分析を本格的に実施しようとする、企業レベルであっても巨大かつ複雑なシミュレーションの実施や専担チームの設置などを行っている例もあり、敷居が高いとの印象をお持ちの方も多いかと思えます。

講演では、気候シナリオや気候シナリオ分析がどのようなものかご紹介しつつ、公表されているシナリオを用いて、リスク管理をはじめとして、企業間で相互の情報・ノウハウを共有し、互いの強みを引き出して協業に結び付けていくためのシナリオ分析の活用方法・事例などについてお話しさせていただきます。

◇略 歴

2003年日本銀行入行、金融機構局（金融機関のモニタリング、考査、金融システムレポート作成）、金融研究所（金融技術・金融経済学の研究）、イングランド銀行出向などを経て、2021年より現職。

現在、バーゼル銀行監督委員会気候関連金融リスクタスクフォースのシナリオ分析作業部会の共同議長をはじめ、気候関連金融リスクに関係する金融規制監督の国際会議等に参加するとともに、大手金融機関を対象とする気候シナリオ分析の企画立案にも従事。